



かしこく・やさしく・たくましく

# 西中野

平成 29 年度 3 月(478)号  
平成 30 年 3 月 1 日  
中野区立西中野小学校  
校長 岡本賢二

## 「音読の西中野」

校長 岡本賢二

弥生3月、今年の厳しい寒さもあと少しです。あらゆる生命、その息吹が芽生え、エネルギーあふれる季節がやってきます。子どもたちの目も一層輝いてきました。学年のまとめの時期に、一人ひとりが活躍できるよう、しっかりとサポートしていきます。



3月の音読朝会の様子（2年生）

さて、本年度の取組を振り返ってみると、最も成果があったこととして、子どもたちの【発表力】が伸びたことがあげられます。これは、1年間をとおして、全校で【音読活動】に力を入れてきたことが成果に結び付いたと考えています。月ごとの【音読朝会】（学年ごとの音読発表会）に向けて、毎週【全校一斉音読】を行い、日常の授業でも大きな声で音読する活動に繰り返し取り組んできました。当初は、声を出ることができない子、声を出すことを恥らう子が目立ちました。今では、子どもたちが集会や発表などで人前に立つときは、【ノーマイク・ノーペーパー】（マイクなし、手持ち原稿なし）で発表できるようになってきました。原稿を読まず、マイクを通さない張りのある声には、説得力があります。声を出す習慣を身に付けさせ、大きな声を出ることが当たり前の風土をつくり、声を出す訓練をして、人前で発表する成功体験を積み重ねることで発表力は身に付くということがよくわかりました。

音読朝会では、詩や短歌・俳句だけではなく、落語や物語、日本国憲法など、多種多様な文章を暗唱して発表しています。そのため、読む力だけでなく、記憶力や集中力、聞き取る力が伸びてきています。これは、学習者として大切な能力であり、様々な教科の基礎となる力です。また、【あいさつ】も大きな声でできるようになった子がとても多くなり、学校全体に活気が出てきたことも音読の効果であると考えます。なにより、もじもじせず、自信をもって人前に立てる子が多くなったことがうれしいことです。これからも、「音読の西中野」としてしっかりと取り組んでいきますので、ご支援とご協力をお願いいたします。

三月の生活目標  
「教室のすみずみまで  
きれいにしよう」

生活指導部

三月は、今年度最後の月ということで美化週間があります。一年間、色々なことを学んだ学校をすみずみまできれいにしようという目標をもって取り組ませていきたいと思えます。昔からのことわざに「立つ鳥跡を濁さず」があります。次に使う人たちが気持ちよく使えるように、みんなが協力しながら教室や廊下等をきれいにしたいです。また、通い慣れた教室や使い慣れた机・用具をきれいにするには、進級・進学に向けて気持ちを引き締めることにもつながります。

ご家庭でも新年度に向けて、お子さんと一緒に学習用具の確認や身のまわりの整理整頓を行い、新年度に向けての意欲をもたせてください。

保健目標

「一年間の健康生活を  
反省しよう」

給食目標

「自分の食生活を振り返ろう」